「バス無料デー」開催日における大分県内路線バスの運賃に関する県民意見募集結果について

１．実施期間
令和８年１０月５日（月）から令和８年１１月６日（金）まで

２．提出意見件数
意見提出者数：１名　意見項目数：２件

番号	ご意見	県の考え方及び反映状況
1	今回のバス無料デーは、県民が公共交通に親しみ、普段利用する機会の少ない方にもバスを利用していただくきっかけとなる、意義のある取り組みだと考えます。 せっかくの機会ですので、当日の利用促進だけでなく、その後の日常的な利用につなげていくことも大切だと思います。これまでの実施で得られた成果や課題を踏まえ、利用者数の変化や継続利用への効果などを検証し、今後の公共交通の維持・確保に向けた施策に生かしていただければ、今回の取り組みもより意義深いものになるのではないでしょうか。 また、今回の実施日を2027年1月11日（成人の日）とした背景や、実施日数を1日とした考え方についても、これまでの実施結果などと併せてご紹介いただけると、取り組みの趣旨や工夫への理解が深まると思います。過去の無料デーの利用実績や検証結果についても共有していただければ、これまでの成果や課題を今後に生かしていくうえで、参考になると考えます。 今回の無料デーが、一日限りの体験にとどまらず、県民が公共交通を身近な移動手段として感じ、日常的な利用や将来にわたる利用者の確保につながることを期待します。	令和６年度の開催では、３日間で前月比約１．６倍の約１４万人の方にご利用いただき、利用者アンケートの結果などから、バスを利用する良いきっかけづくりになるなど、一定の利用促進効果が確認されました。一方、平日の実施の場合、普段通学等で利用されている方が、混雑により乗車できなかったなどの状況も確認されました。（実施結果の詳細については、大分県ホームページ「乗合バス利用効果実証事業（バス無料デー）の実施結果について」で公表しています。） このため、今回の実施を検討するにあたり、前回の実施結果や課題を踏まえ、事業に要する経費、交通事業者の負担、期待される利用促進効果などを総合的に勘案し、公共交通利用促進キャンペーンを行ったうえで、バス無料デーを開催することとし、実施日を令和９年１月１１日（月・祝）の１日としたところです。 県としては、バス無料デーを一時的な利用だけでなく、日常的な利用につなげることが重要と考えており、今回も利用状況等を分析し、今後の公共交通の利用促進に向けた取組に生かしていきます。
2	さらに、普段バスを利用する機会の少ない方や高齢者にとっては、乗り方や運賃の支払い方法、ICカードの使い方、時刻表や乗換案内の調べ方などが、利用への一歩をためらう理由になることもあると思います。地域活動やイベントなどの既存の機会や資源も生かしながら、こうした不安を解消する工夫を重ねていくことも、継続的な利用につながるのではないでしょうか。	県内では、「バスの乗り方教室」等を実施している市町村があります。 県としても、こうした取組はバス利用への不安を解消し、日常的な利用を促進するうえで有効と考えており、今後、取組が広がるよう、市町村やバス事業者に働きかけていきます。